

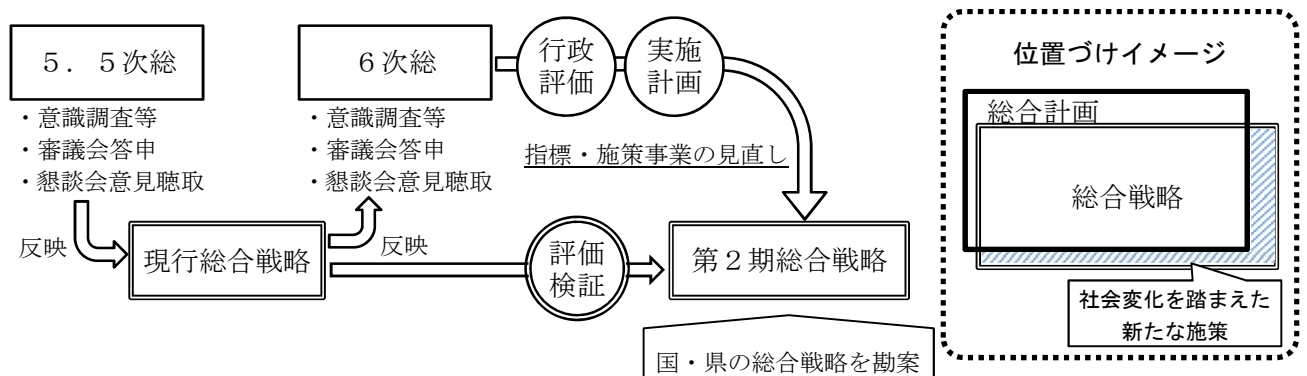
「宇都宮市人口ビジョン」の改訂及び 「第 2 期宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について

1 策定の目的

- 人口減少・少子超高齢化社会の進行や人口の東京圏の一極集中の傾向が強まる中、未来技術を活用した地域課題の解決や、持続可能な開発目標である SDG s の推進、定住人口でも交流人口でもない関係人口という新しい概念など、新たな時代の流れを力に、地方創生に一層取り組む必要がある。
- こうしたことから、平成 27 年度に策定した「宇都宮市人口ビジョン」について、最新値に基づき人口推計の時点修正を行うとともに、社会状況の変化を的確に捉えながら、長期的な視点に立って、地方創生に切れ目なく取り組むため、「第 2 期宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。

2 計画の位置付け

- 2050 年を見通したまちづくりの方向性を示した「宇都宮市人口ビジョン」を踏まえ、第 6 次宇都宮市総合計画に掲げた多様な取組を基本としつつ、社会状況の変化を踏まえ取組をとりまとめたもの



- 総合戦略に掲げた取組を着実に推進することにより、SDG s の達成に貢献し、持続可能なまちを目指す。
- 国の地方創生関係交付金の活用にあたっては、総合戦略への取組の位置づけが条件となっており、活用が想定される施策・事業を積極的に盛り込む。

3 計画期間

令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間

令和 4 年度に予定している中間評価を行い、総合計画（令和 4 年度改定予定）との指標・施策の整合を図るなど、必要に応じて見直しを図る。

4 策定の経過

令和元年8月～ 庁内検討組織（推進委員会2回，分科会2回）
とちぎ地方創生推進会議（推進会議1回，連絡会議3回）
外部有識者への意見聴取（延べ10回）
令和2年2月 パブリックコメントの実施

5 計画の内容・特徴

(1) 内容

宇都宮市人口ビジョン・第2期宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
【概要版】・・・別紙参照

(2) 特徴

引き続き，結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実や，東京圏から本市への移住促進，公共交通ネットワークの充実に取り組むとともに，本市が持続的に成長していくための取組を次のとおり追加

ア 将来的な移住に繋げる「関係人口」の拡大

- ・ 人口ビジョンにおける将来人口推計については，昨今の自然減や転出超過などの実態を踏まえ，時点修正を行ったところであり，2050年の人口については，趨勢型・展望型とも，修正前と比較し微減となったところである。
- ・ また，近年の人口動態の推移のうち，特に，東京圏への転出超過数の拡大などの傾向を踏まえ，第2期総合戦略においては，将来的な移住の裾野を広げるため，居住地以外の地域において就労・生活（ダブルプレイス）することや，地域の課題解決・活性化に貢献するなど，その地域や住民と信頼・愛着を持ち，多様な形で地域と関わる人々である「関係人口」の拡大を掲げ，東京圏における情報発信の強化などに取り組む。

- 関係人口の拡大
 - ・ 東京圏における情報発信の強化
 - ・ 二地域生活の推進

イ 「スマートシティ」の推進

- ・ AIやIoTなどのICTの活用により，様々な分野における市民の身近な暮らしの利便性向上や安全・安心で活力あるまちの形成を図るため，国土交通省「スマートシティモデル事業」に選定された官民連携組織の「Uスマート推進協議会」による取組を中心に，社会課題の解決に向けた先進技術の利活用や行政運営の効率化・高度化など，先進技術の社会実装化に向けて取り組むとともに，様々な分野への横展開を図る。

- スマートシティの推進
 - ・ スマート・モビリティサービス等の実現
 - ・ ICTを活用した行政運営の効率化・高度化

ウ 「SDGs」の達成に向けた取組の推進

- ・ 国際社会共通の目標である「SDGs」の達成に貢献し，これらを原動力とした持続可能なまちの実現に向け，内閣府に選定された「SDGs未来都市」の取組を中心に，経済・社会・環境の三側面が調和した持続可能なまちづくりを推進する。

- SDGsの達成に向けた取組の推進
 - ・ 人づくりプラットフォームの構築等によるSDGsの推進
 - ・ 拠点間を結ぶ総合的な交通ネットワークの構築
 - ・ 地域再生エネルギーの地産地消の推進

「宇都宮市人口ビジョン」

策定の目的

人口減少・少子超高齢化社会の進行や人口の東京圏の一極集中に的確に対応するため、平成27年度に策定した「人口ビジョン」における人口推計の時点修正を行うとともに、社会状況の変化を捉えながら、長期的な視点に立って、地方創生に切れ目なく取り組むため、第2期総合戦略を策定する。

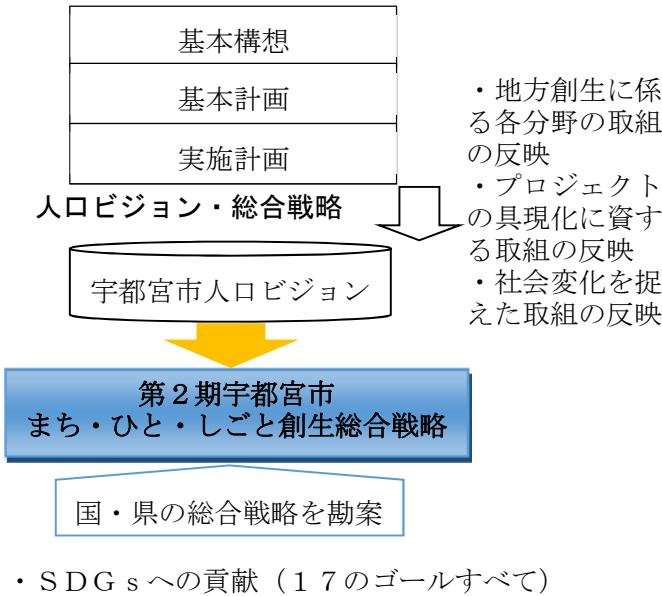
計画期間

まち・ひと・しごと創生法に基づき、国と地方が一体的に、切れ目なく地方創生を推進するため、国の第2期「総合戦略」と計画期間を合わせる。
⇒ 令和2年度～令和6年度の5か年
ただし、令和4年度に中間評価を行い、総合計画との指標・施策の整合を図るなど、必要に応じて見直しを図る。

計画の位置づけ

2050年を見通したまちづくりの方向性を示した「宇都宮市人口ビジョン」を踏まえ、第6次宇都宮市総合計画に掲げた多様な取組を基本としつつ、社会状況の変化を的確に捉え、施策・事業を位置づけ

第6次宇都宮市総合計画



社会変化を捉えた取組

- SDGs
⇒ 2030年を年限とする「持続可能な開発目標」の達成に国際社会共通で取り組む。
- Society 5.0
⇒ ICTを最大限活用し、多様なニーズにきめ細かに対応できる社会を実現する。
- 関係人口の創出・拡大
⇒ 地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野を拡大するため、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図る。

ビジョンの位置付け

21世紀の半ばとなる2050年を見通した、目指すべき方向性と将来の人口の展望を示す。

人口の動向

- ・総人口：平成29年をピークに減少
- ・年齢別人口：年少人口、生産年齢人口の減少、老年人口の増加
- ・産業人口：全体的に減少
- ・自然動態：平成28年から自然減
- ・社会動態：平成30年に日本人が社会減、全体としては増、東京圏への転出超過が増加傾向

2050年の人口の将来展望

【趨勢型】約45万人に減少
【展望型※】50万人台を維持
※ 合計特殊出生率が2030年までに1.72、2050年までに2.07まで向上し、本市と東京圏での人口移動の均衡が図られた場合の推計

「第2期宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

基本目標	◆基本施策・○主な施策事業	主な重要業績評価指標（KPI）																								
<p>基本目標1（自然動態） 結婚・出産・子育ての希望の実現と、誰もが健康で活躍できる社会を実現する</p> <p><成果指標></p> <p>□宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H28）</td><td>95.9%</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>98.5%</td></tr> </table> <p>□社会活動等に参加している高齢者の割合</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H28）</td><td>31.7%</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>38.9%</td></tr> </table>	現状値（H28）	95.9%	目標値（R4）	98.5%	現状値（H28）	31.7%	目標値（R4）	38.9%	<p>【基本施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆結婚や子どもを持つことを願う若い世代の希望がかなえられるよう、経済的な安定や結婚につながる支援などの充実を図る。 ◆市民が安心して、妊娠・出産することができる支援の充実と、地域全体ですべての子どもや若者、子育て家庭を支え合う社会の実現を図る。 ◆すべての子育て家庭を支援するための教育・保育サービスの充実を図る。 ◆女性や高齢者、障がい者、外国人などが健康で自立した生活を送りながら、あらゆる場面で活躍できる社会の実現を図る。 	<p>▽結婚の希望をかなえる支援のための結婚活動に役立つセミナー等事業の参加率</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>92.6%</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>現状より増加</td></tr> </table> <p>▽地域で子育てを支援する人の数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>1,594人</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>2,000人</td></tr> </table> <p>▽男女共同参画推進啓発講座の受講者数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>1,269人</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>現状より増加</td></tr> </table> <p>▽健康ポイント事業参加者数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>8,869人</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>22,000人</td></tr> </table>	現状値（H30）	92.6%	目標値（R4）	現状より増加	現状値（H30）	1,594人	目標値（R4）	2,000人	現状値（H30）	1,269人	目標値（R4）	現状より増加	現状値（H30）	8,869人	目標値（R4）	22,000人
現状値（H28）	95.9%																									
目標値（R4）	98.5%																									
現状値（H28）	31.7%																									
目標値（R4）	38.9%																									
現状値（H30）	92.6%																									
目標値（R4）	現状より増加																									
現状値（H30）	1,594人																									
目標値（R4）	2,000人																									
現状値（H30）	1,269人																									
目標値（R4）	現状より増加																									
現状値（H30）	8,869人																									
目標値（R4）	22,000人																									
<p>基本目標2（社会動態） 働く場や魅力の創出などによる東京圏からの流入人口・関係人口の拡大を図る</p> <p><成果指標></p> <p>□東京圏から本市への転入者数（H29からの累計）</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>10,948人</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>34,173人</td></tr> </table> <p>□宇都宮市に魅力や愛着を感じる市民の割合</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H29）</td><td>78.6%</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>85.4%</td></tr> </table>	現状値（H30）	10,948人	目標値（R4）	34,173人	現状値（H29）	78.6%	目標値（R4）	85.4%	<p>【基本施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第一次産業から第三次産業まで「創造力」「耐久力」「循環力」さらには「稼ぐ力」を高め、人や企業から選ばれる都市を実現する。 ◆地域産業を支える地域人材の育成や、未来を生き抜く力を育成する教育など、幅広い分野での「人づくり」を進める。 ◆本市への移住を希望する住民を積極的に受け入れる体制づくりなど、特に若い世代の女性の東京圏からの流入人口の増加を図るとともに、東京圏の住民や企業に対し、本市と多様な形で関わりを持ち、将来的な移住等に繋げる「関係人口」の創出・拡大を図る。 ◆本市の魅力や魅力を広く国内外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。 	<p>▽企業立地補助金・企業定着促進拡大再投資補助金件数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>16件</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>21件</td></tr> </table> <p>▽まちづくり活動応援事業登録者数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>193人</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>17,000人</td></tr> </table> <p>▽移住・定住に関する相談件数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>135件</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>600件</td></tr> </table> <p>▽観光ボランティアガイド養成講座の累計受講者数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>265人</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>350人</td></tr> </table>	現状値（H30）	16件	目標値（R4）	21件	現状値（H30）	193人	目標値（R4）	17,000人	現状値（H30）	135件	目標値（R4）	600件	現状値（H30）	265人	目標値（R4）	350人
現状値（H30）	10,948人																									
目標値（R4）	34,173人																									
現状値（H29）	78.6%																									
目標値（R4）	85.4%																									
現状値（H30）	16件																									
目標値（R4）	21件																									
現状値（H30）	193人																									
目標値（R4）	17,000人																									
現状値（H30）	135件																									
目標値（R4）	600件																									
現状値（H30）	265人																									
目標値（R4）	350人																									
<p>基本目標3（都市基盤） 便利で暮らしやすいまち、ネットワーク型コンパクトシティを実現する</p> <p><成果指標></p> <p>□公共交通年間利用者数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>3,395万人</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>3,500万人</td></tr> </table> <p>□市内人口に占める都市拠点・地域拠点の人口割合</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H28）</td><td>19.4%</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>20.1%</td></tr> </table>	現状値（H30）	3,395万人	目標値（R4）	3,500万人	現状値（H28）	19.4%	目標値（R4）	20.1%	<p>【基本施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域特性に応じた機能や居住の誘導を図る拠点化の促進と、地域で安心して暮らし続けられる社会を実現する。 ◆本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市を実現する。 ◆交通ネットワークが整備された利便性の高い都市を実現する。 ◆AIやIoTなどのICTの活用により、様々な分野における市民の身近な暮らしの利便性向上や安全・安心で活力あるまちの形成を図る。 ◆SDGsを原動力とした経済・社会・環境の三側面が調和した持続発展可能な都市を実現する。 ◆安全・安心かつ効率的で健全な都市運営を実現する。 	<p>▽都市拠点・地域拠点における市街地開発事業等実施数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>3地区</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>6地区</td></tr> </table> <p>▽公共交通カバー率</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>91.6%</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>現状より増加</td></tr> </table> <p>▽SDGs関連セミナーの参加者数</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>—</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>720人</td></tr> </table> <p>▽河川/公共下水道雨水幹線整備率</p> <table border="1"> <tr><td>現状値（H30）</td><td>62.3%/55.6%</td></tr> <tr><td>目標値（R4）</td><td>62.8%/56.7%</td></tr> </table>	現状値（H30）	3地区	目標値（R4）	6地区	現状値（H30）	91.6%	目標値（R4）	現状より増加	現状値（H30）	—	目標値（R4）	720人	現状値（H30）	62.3%/55.6%	目標値（R4）	62.8%/56.7%
現状値（H30）	3,395万人																									
目標値（R4）	3,500万人																									
現状値（H28）	19.4%																									
目標値（R4）	20.1%																									
現状値（H30）	3地区																									
目標値（R4）	6地区																									
現状値（H30）	91.6%																									
目標値（R4）	現状より増加																									
現状値（H30）	—																									
目標値（R4）	720人																									
現状値（H30）	62.3%/55.6%																									
目標値（R4）	62.8%/56.7%																									